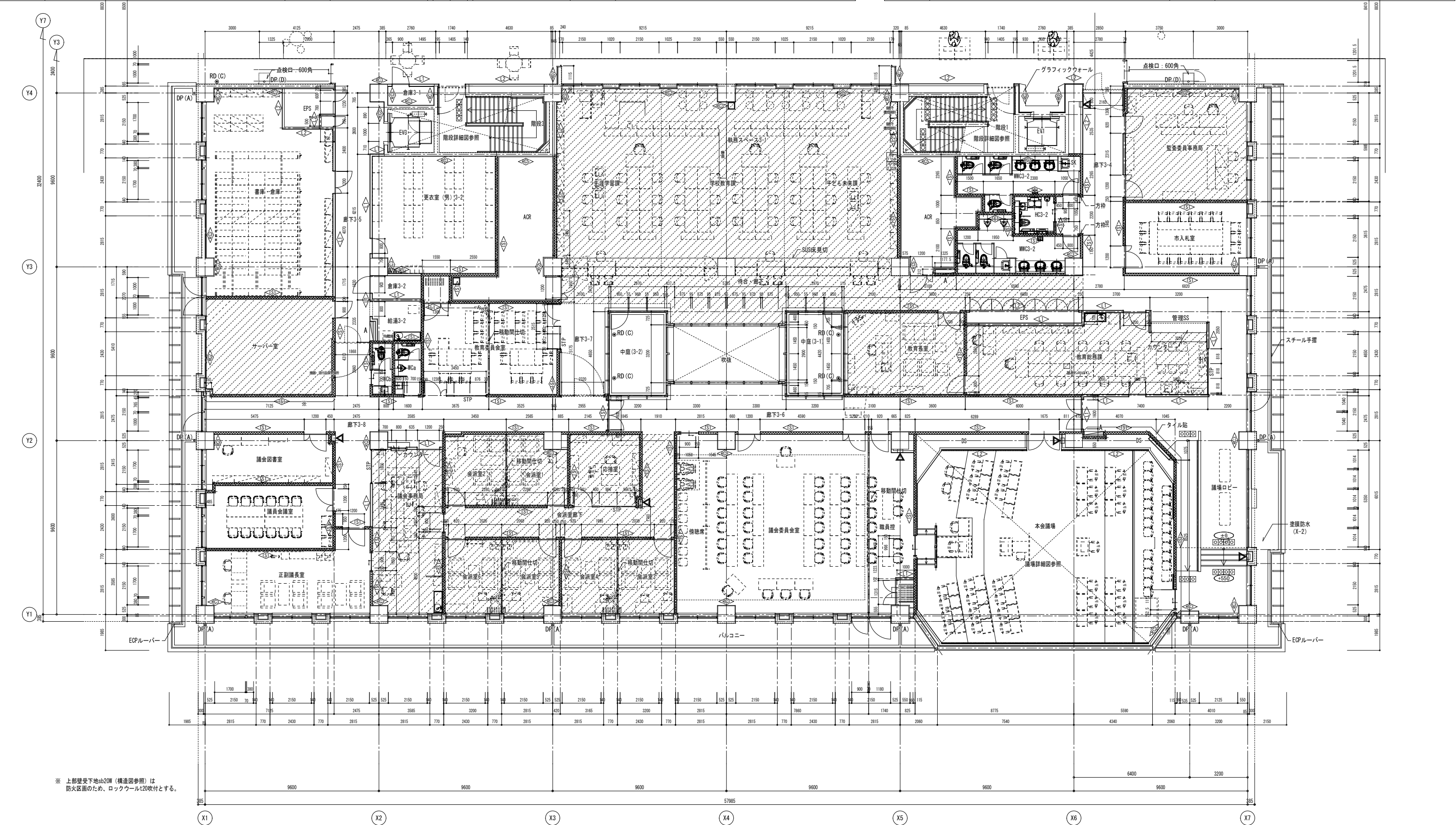


凡 例										
DP (A)	125φ アルミ樋 (アクリル焼付塗装) バンドレスタイプ (中継ドレイン)		A	屋内消火栓 W1050xD200 (消火器BOX付)		B	仕上天: FLからの仕上レベルを示す。スラブ天: FLからのスラブレベルを示す ※ 特記なき仕上レベルはFL±0とし、スラブレベルはFL-20とする			
DP (B)	100φ アルミ樋 (アクリル焼付塗装) バンドレスタイプ (中継ドレイン)		B	屋内消火栓 W 750xD200		M	化粧床下点検口 600 x 600			
DP (C)	125φ 銅管製堅樋 防露巻		M	分電盤 1FW800xD200, 2・3FW600xD200		M	床下点検口 マンホール 600φ			
DP (D)	100φ 銅管製堅樋 防露巻		A	消火器BOX (埋込)		B	消火器BOX (置式)			
RD (A)	125φ 鋳鉄製		B	100φ 鋳鉄製		M	OAフロアの範囲を示す			
RD (C)	75φ 鋳鉄製		M	125φ 鋳鉄製 (樋材同材)		M	ユニットフロアの範囲を示す			
—— OF	オーバーフロー管		M	SUS細目グレーチング		M	床空調間仕切 (スタイロフォームt150)			
◇	SUS製丸環		A	タラップA		B	タラップB		M	額縁孔あけ加工 25x750 上下2ヶ所

壁凡例	注記) ・スラブ下までのLGS壁下地は、1階W=100、2・3階W=90とする。		
	LGS一般壁 両面GB-R t 12.5+ t 9.5 (ボード天井まで、LGSスラブまで)		杉板化粧打直し
	LGS一般壁 片面GB-R t 12.5+ t 9.5 (ボード天井まで、LGSスラブまで)		GL工法 (断熱有)
	LGS耐火間仕切壁 片面GB-F t 21+21 (スラブまで) FP060NP-0007		GL工法 (断熱なし)
	LGS耐火間仕切壁 両面GB-F t 12.5+ t 9.5 (スラブまで) FP060NP-0289		RC下地の上被層塗材E
	LGS耐火遮音間仕切壁 両面GB-F t 12.5+ t 12.5 (LGSチドリ、創充填、スラブまで) FP060NP-0175 TLD50		RC素地
			壁補強下地鋼板 t=1.2 W=200 特記なき場合 FL+1800天端(五條市エリア) FL+1800芯(奈良県エリア)



※ 上部壁受下地sb20W (構造図参照) は
防火区画のため、ロックウール120吹付とする。